



2016技術セミナー及び JEITA関西講座について

2016技術セミナー

関西IT・ものづくり技術委員会では9月9日（金）に大阪歴史博物館にて「イノベーションを通じた日本の成長戦略～産業構造変化における『ものづくり』革新に向けて～」をテーマに2016技術セミナーを開催しました。



2016技術セミナー会場風景

産業構造の変化の中で 日本の製造業が生き残るためには

●経済産業省 製造産業局 徳増伸二 参事官

IoT、ビッグデータ、AI等の技術革新により、これまで不可能と思われた社会が実現しつつあり、産業構造が劇的に変化する可能性が生まれています。海外企業は、ネット上の強みを活かしてリアルな事業分野に進出する（グーグルやアマゾン）、あるいは、現場データのネットワーク化によりソフトウェア事業への移行を図る（シーメンス）方向で、グローバル戦略を進めつつあります。日本の製造業にも、自前主義からの脱却や経営のスピードアップ等、ビジネスモデルの変革が求められます。先進事例の創出や中小企業への導入支援等、経済産業省が推進する施策についても紹介がありました。

Industry4.0で日本企業が 考えておかなければならないこと

●SAPジャパン(株) 柳浦健一郎 氏

まずSAP自身の革新が紹介されました。かつてはERP

(Enterprise Resource Planning) パッケージが売り上げの大半を占めていましたが、ニーズの変化や技術進歩の中、買収や協業を含めたデジタルビジネス戦略を進め、インダストリー 4.0における主要プレイヤーとなっています。IT/IoTのデジタル革命で製造業と非製造業の境目がなくなり、インダストリー 4.0の影響は製造現場にとどまらず全産業に及びます。変革には、垂直と水平、両方の視点が必要です。垂直方向だけでは単なる見える化に過ぎず、水平連携により初めて新たな価値が生まれます。SAPとの協業により社会的課題を解決し価値を創出したスティーラー、UPS等の事例から、自前主義でないこと、人の欲求を重視すること、小さく始めることの重要性が強調されました。

産業用IoT(IIoT)とそれを支える無線インフラ

●横河電機(株) 山本周二 氏

プラントのIoT化について、同社が手がけた監視・分析・実行プロセスの多様な事例と、そこに用いられた各種のセンシング・無線技術が紹介されました。背景には、グローバル化・リアルタイム化といったビジネス環境の変化に加え、民生技術の高性能・低価格化、新技術の出現等があります。IoTの産業応用であるIIoTは、プラント運用と情報活用の技術を融合し、プラント内の様々なデータを駆使して運用効率を向上させます。今後、データ収集・解析の技術進化により、さらなる安全・高効率な操業をめざした取り組みが進められて行きます。

インダストリー4.0と産業構造の変化 ～業務プロセスのIoT化が生み出す破壊力～

●総務省 近畿総合通信局 関 啓一郎 局長

クラウド、IoT、ビッグデータ、AI等の言葉は、人によって理解が異なり、混乱・誤解を生じています。用

語を再定義し、それぞれの関係を整理した上で、データ主導社会がもたらす新たな価値が説明されました。IoT時代における価値の源泉はデータであり、これをいかに活用するか、そのための環境をいかに整えるかがポイントとなります。日本企業の競争力は、現場の暗黙知(ノウハウ、匠の技など)を源泉にしてきましたが、業務プロセスのICT化により優位は失われつつあります。この状況は、製造業に限らず医療、流通、農業など全産業で生じており、こうした変化を直視した上で、IoTやインダストリー 4.0に対応する取り組みが、経営者には求められます。政府としても環境整備に注力して行きます。

当日、180名の参加があり、アンケートによる評価では、81%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的回答をいただき、「いずれのテーマもタイムリーでわかりやすかった」等の高い評価を得ました。

「JEITA関西講座」に対し 感謝状をいただきました

関西IT・ものづくり技術委員会／産学連携分科会では、大阪と神戸、両大学の大学院工学研究科にて、会員企業より講師を派遣いただき講義を行う「JEITA関西講座」を実施しております。今年度の講義スケジュールは右表の通りです。

大阪大学は平成16年度より、神戸大学は平成18年度より継続実施した功績に対し、この度、両大学より感謝状をいただきました。委員会では、これを励みに、さらなる充実に向け、今後も内容の検討を重ねて参ります。

【神戸大学大学院「企業における研究・開発の実際」】

月	日	テーマ	担当会社
6	22	局地気象レーダーを例とした 新製品開発プロジェクト	古野電気(株)
		スピーカーの技術開発から現場納入まで	TOA(株)
	29	電気生理バイオセンサの開発を通じて学んだこと	パナソニック(株)
		加速器用電源	ニチコン草津(株)
7	6	レーザー液晶テレビ開発の実際	三菱電機(株)
	13	8Kディスプレイの開発について	シャープ(株)
		できない理由は探さずにできる理由を探そう!	ローム(株)
	20	電子部品の栄枯盛衰	(株)村田製作所
		家庭用燃料電池の開発と実用化	パナソニック(株)

【大阪大学大学院「知価社会論」】

月	日	テーマ	担当会社
10	21	8Kディスプレイの開発とその応用	シャープ(株)
	28	局地気象レーダーを例とした 新製品開発プロジェクト	古野電気(株)
11	11	知価社会における環境エネルギービジネスの進化	ニチコン(株)
	18	(株)島津製作所における産学官連携による イノベーションの創造	(株)島津製作所
	25	電気生理バイオセンサの開発を通じて学んだこと	パナソニック(株)
12	2	レーザー液晶TV開発の実際	三菱電機(株)
	9	電子部品の栄枯盛衰 (センサー事業20年の振り返りから見えるもの)	(株)村田製作所
	16	SiCの事業化とこれから	ローム(株)
1	6	スピーカーの技術開発から現場納入まで	TOA(株)



大阪大学からの感謝状



神戸大学からの感謝状

WHAT WILL YOU DO NEXT?



Inter BEE 2016

11.16水 ≫ 18金 幕張メッセ

主催: **JEITA** 一般社団法人 電子情報技術産業協会
 運営・お問い合わせ先: 一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
 Tel: 03-6212-5231 Fax: 03-6212-5225 E-mail: contact2016@inter-bee.com

入場事前登録・コンファレンス聴講予約受付中!

www.inter-bee.com

